



もっと知りたい！ 環境のためにできること

さて、わたしたちのまちの環境状態は、おおむね良好であることがわかりました。でも、そこで一安心しては、今の状態を維持することができても、より良い環境を創り出すことはできません。

ここでは、さらに積極的に、そして環境に対する理解が深められる、そんな活動を紹介します。

地球的な環境を考え、地域に根ざした身近なものや、わたしたちができることから始めることが大切ではないでしょうか。

明徳地区アダプトプログラム

わたしたちが取り組む 新しい地域美化活動のかたち

アダプトプログラム。あまり耳慣れないこの言葉その意味は、行政のバックアップのもと、地域のかたがたあるいは企業などがボランティアとなって、道路や公園などを定期的に清掃し、美化活動を進めるといふものです。行政は、回収した廃棄物を引き取ったり、協力団体名をアダプトサインとして看板を立てるなどして参加意識を高めてもらうようにします。今年度から秋田市でも明徳地区と寺内地区をモデルに試みが始められようとしています。

明徳地区町内会連合会会長の瀬谷實さん(写真)は「人が集まる地区なので地域の環境はいつも気になります。アダプトプログラムの運営については話し合いを始めたばかり。町内会や商店会、地域の団体のご協力をお願いします」と呼びかけます。

担当する場所は、秋田駅前広場と広小路両側の歩道、大手門通りから手形陸橋両側の歩道まで。自分たちの担当する区域を決めることで、よりいっそう目的がはっきりするこの取り組み。地域に根ざした環境美化活動として注目されています。



この歩道も担当区域です(広小路)

(株)共電秋田(川尻町)

缶取りーウォークで 社員一丸 ボランティア清掃

秋田市川尻町大川反にある自動車部品製造会社(株)共電秋田。「環境整備はすべての活動の原点」という会社の基本方針で、社内清掃の徹底はもちろん、社外でのボランティア清掃活動も十年以上にわたって続けています。

「缶取りーウォーク」と名付けられた活動は、四月から十二月まで月に一、二回。始業前の午前七時、会社のある臨海の国道七号線を数組に分かれて出発し、八橋運動公園までの道を、四十分ほどかけてごみを拾いながら歩きます(時には駆け足で!)。

代表取締役の岩方雅司さんは「イベントがあつたときはさすがにごみは多くなりますね。それでも、以前よりは回収量が五分の一程度になっています。たまたに弁当の空箱をわざわざ植木の奥に押し込んであるのを見ると複雑な思いがします」と残念そう。「今年は八月にワールドゲームズが八橋陸上競技場でも行われます。環境に対して意識の高い世界の国々からたくさんの方がいらっしやいます。その頃には重点的に清掃活動をする予定です。



山王大通り沿いで

市内の他の企業とも情報交換するなど連携もはかっています。小石の波紋がやがて大きくなるように、環境に対する意識が高まってくれたらいいですね」と語ってくれました。



この日の成果は全部でごみ袋およそ20個! ボランティアのあとのさわやか笑顔です